

キャラクター名
 鮫柄 彩歌 (さめつか あやか)

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ プラム=ストーカー		ワークス	何でも屋	カヴァー	フリーター
	ソラリス		年齢	15歳 (?)	性別	女
オプション	覚醒	素体	衝動	自傷	初期侵食率	37 %
出自	政治権力		経験	大会	邂逅	好敵手

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	41
肉体	4	1	1		4	10	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	1	0	0			1	戦闘移動	10
社会	1	0	0			1	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	10		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話 (コネ)	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
【緋色の酩酊】 (A)		0		+16		7+8。単体に付与する変則デバフ
/100↑		0		+24		
【紅化粧】 (B)	白兵	10r+10	5	+28		5+6。HP上限まで消費時
/100↑		0	5	+33		理論上最大値。実際は攻撃力+31が多い

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 噂好きの友人	
メモリー: 大会優勝の幸福感	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
実験体 (LM仕様)	P	N		
由梨と言う女性	P 慕情	N 憤懣		
如月 斗真	P 誠意	N 隔意		
“メビウスフィア”安心院 由梨	P 遺志	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
C:ソラリス	2	2	Xジャー	-	-	シド	-	
効果:	判定のC値-Lv (下限7)							
腐食の指先	3	2	Xジャー	武器	単体	白兵	-	
効果:	命中時、シーン間装甲-Lv×5							
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	妨害無視で戦闘移動。シーンLv							
レストレインコマンド	1	4	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	BS3つ解除。シーンLv							
赫き剣	4	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	Lv×2点HP消費し、武器作成							
破壊の血	4	2	マイナー	至近	自身	自動	リミット	
効果:	《赫き剣》攻+L×3、ガ+5、消HP2							
ターゲットロック	2	3	セットアップ	視界	単体	自動	-	
効果:	シーン、対象に対する攻+Lv×3							
攻性変色	2	3	セットアップ	視界	単体	自動	リミット	
効果:	暴走。《ターゲットロック》の攻+Lv×5							
復讐の刃	2	6	オート	至近	単体	白兵	-	
効果:	り放棄で白兵攻撃。C-Lv (下限7)							
声なき声	★	-	Xジャー	視界	シ (選)	-	-	
効果:	自身の思念を相手に伝える							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

【経歴・表】
 政治権力にも通じる影響力を持つ大企業『マック・ザ・ナイフ』の社長令嬢。
 国際化を謳う父はプライベートでもそれを実践しており、母は英国人である。
 世間一般の親子の触れ合いからは程遠い関係性であったが、公人としての父は深く尊敬しており、そんな家に生まれた己に恥じないように生きてきた。
 文武両道、というにはやや武に偏っているくらいはあったものの勉学の方に手を抜くこともなく、一方で才覚を発揮した武においては県大会で優勝するほどの実力を身に着けた。

しかし中学三年目の夏、全国大会に向かう飛行機にて事件は起こる。
 警報、メーデー、飛行機の窓の外に見える『何か』、衝撃、浮遊感。
 断絶する意識と記憶。

次に目を覚ました時、彼女は望まぬ力の代償に多くのものを奪われてた。
 特に喜怒哀楽のうち『怒』の感情を奪われているのは大きく、対人関係に大きな支障をきたした。

このまま帰るわけにはいかない。今の自分のはあの家に迷惑をかけることしかできない。
 そんな強迫観念に憑りつかれた彼女は、日常から離脱し、己から感情の一角を奪った怪異を追う生活を始める。

彼女にとって幸運だったのは、その最初の第一歩でB市の繁華街に流れ着き、怪異探偵事務所の庇護下に入ったことだろう。
 今の自分のまま生きるノウハウを得た彼女は、事務所の所員として活動する傍ら、プライベートで手がかりを探するという、新たな日常を得たのだから。

【経歴・裏】 (閲覧自由)
 彼女が自身の感情を奪ったと思込んでいる『怪異』自体は存在しており、それにより飛行機事故が発生したのも事実だが、実は感情や記憶の欠落と『怪異』